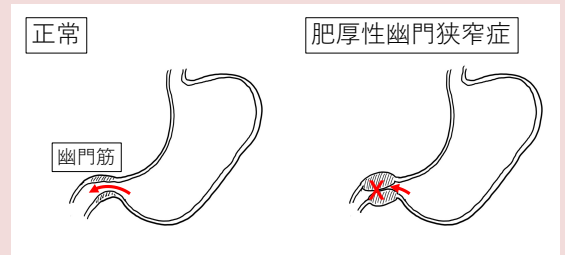


肥厚性幽門狭窄症

医学研究所北野病院 小児外科

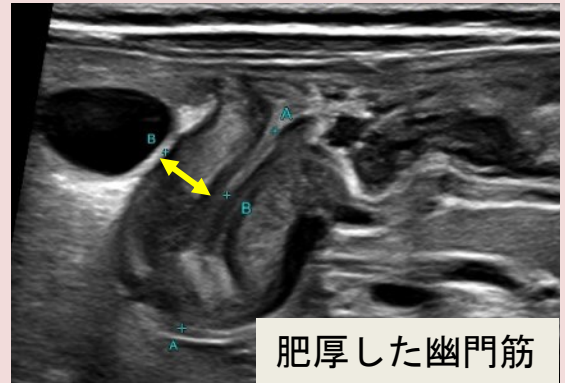
肥厚性幽門狭窄症とは？

胃の出口を幽門といいます。その幽門の筋肉が肥厚して胃からミルクが出なくなる疾患です。生後2～3週目頃から嘔吐することが多くなり見つかることが多いです。第1子の男の子に多く、原因は不明です。



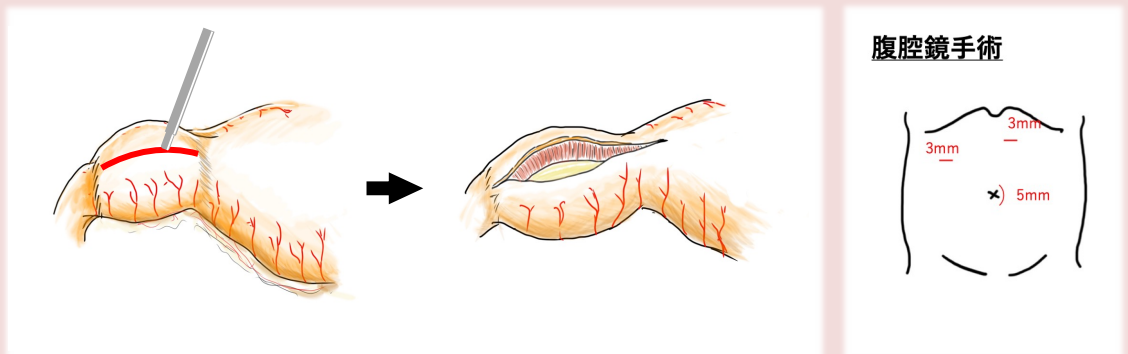
検査は？

一般的には、エコー検査で幽門の筋肉の厚みや長さを測定します。厚みが4 mm以上になることが多いです。その他の疾患の可能性もあるときは、胃の造影検査を行うこともあります。



治療は？

一般的には、手術で肥厚した幽門筋を切開します。当院では主に傷の小さな腹腔鏡で手術を行なっています。



その他、硫酸アトロピンというお薬の治療もありますが、効果が安定しないため標準的な治療ではありません。